記入例

様式第１０号（第１２条関係）

令和 9 年 3 月 31 日

原則3月31日を記入
（年度途中で廃止した場合は廃止日を記入）

広　島　市　長　　様

支援金を申請したときの申請者と同じ内容を記入してください。

（申請者の住所　※団体の場合は所在地）

〒 730-8586

広島市中区国泰寺町一丁目6-34

（運営団体名）

●○学区社会福祉協議会

（申請者[役職・氏名]）

会長　　広島　ケア子

支援金給付決定通知書の右上の「決定日」と「公文書番号」を記入

令和 8 年度　認知症カフェ支援対象事業実績報告書

令和 8 年 ○ 月 ○ 日付け広島市指令高地　第 ○ 号 にて支援金の給付を受け、認知症カフェ運営事業を完了しましたので、認知症カフェ支援金給付要綱第１２条の規定により、実績を下記のとおり関係書類を添えて報告します。

また、申請内容に直接影響のない軽微な誤記や明らかな誤字脱字に対する訂正を市が行うことに承諾します。

●精算額＝受領済額－（超過給付＋剰余金）
※超過給付＝中止回数×1万円
※剰余金＝（受領済額＋その他収入）－超過給付－実支出額
・その他収入…利用者負担金、寄付など支援金以外の収入
・マイナスになる場合、剰余金は0円

●受領済額＝給付決定額
※実際に振り込まれた金額

１　精算額

区分	金額	
受領済額	120,000	円
精算額	105,665	円
差引返納額	14,335	円

２　添付書類

⑴　事業実施報告書（様式第１１号）

⑵　出納簿（様式第１２号）

⑶　チラシ・写真など活動内容・状況が分かる書類

⑷　その他市長が必要と認める書類

（注）上記の関係書類はＡ４サイズで提出すること。

様式第１１号（第１２条関係）

記入例

事業実施報告書　1/2

1　事業名	認知症カフェ運営事業
2　事業内容	（カフェ名）●○カフェ

新規団体は７月１日～と記入してください。

（実施期間（支援対象期間））　令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日

➤ 年間開催回数 11 回

（実施場所）【施設等の名称：●○集会所】

【住所：○区●○1丁目1-1】

（利用者数）118 人（延べ人数）

（活動内容）

⑴　地域団体等と連携を図るとともに地域に対して広く広報を行い、認知症の人と家族、地域住民、専門職等が気軽に集える環境であった。

➤ 連携を図った地域団体

- ☑ 地区（学区）社会福祉協議会
- ☑ 地域の民生委員
- ☑ 町内会・自治会
- ☑ その他【NPO法人●○地区を盛り上げる会】

➤ 広報の方法

- ☑ 回覧板・掲示板の活用
- ☑ チラシの配布
- ☑ 運営スタッフや参加者による声掛け
- ☐ その他【　】

⑵　認知症の人及び家族等が安心して集い、交流する場の提供と交流の促進

①　認知症の人が安心して参加できるプログラムの設定

【内容】○○を行うときに、△△などの工夫をすることで、認知症の人が参加しやすくなった。・・・

②　交流の促進に当たり、話しやすい環境を作るための配慮

【内容】配席を○○することで、話しやすいようにした。運営スタッフがファシリテーターを務め、△△にならないように配慮した。・・・

2　事業内容の続き

⑶　認知症の人及び家族等からの相談に対する医療・介護・福祉等の専門職による助言の実施

【内容】**相談ブースを設けて専門職が常駐し、いつでも安心して相談できる環境を整え、本人や家族からの相談を受けた。・・・**

⑷　認知症に関する本市の施策や地域におけるサービスに関する情報提供

- ☑ 認知症あんしんガイドブック（認知症ケアパス）に関すること
- ☑ 介護保険制度（サービス）や各種相談窓口に関すること
- ☑ その他　【**認知症に関する講演会などの案内**】

⑸　家族等の介護者の不安・負担を軽減するような取組

- ☑ 介護者だけの席にするなど、日々の悩みを共有する場を設けた。
- ☑ 認知症の人との接し方などについて専門職からの助言を行った。
- ☑ 介護保険サービス等に関する情報提供を行った。
- ☑ その他　【**家族の希望で、介護方法を学べる講習会を実施した**】

⑹　認知症に関する知識を深めるための講習会等の取組（詳細は実施記録に記載してください。）

- ➤ 年間開催回数　**4**　回
- ➤ うち、謝礼金を支払った回数　**2**　回

3　課題とその課題解決に向けた取組

該当する区分に応じた課題がある場合に、記入してください（特になければ記入不要です。）。

	区分	課題の具体的な内容と 課題解決に向けた取組
1	活動内容に関すること	**同じような内容を繰り返すと、安心する人もいれば飽きる人もいる。皆が楽しめるように、一部は○○するなど工夫している。・・・**
2	活動費に関すること	**年度当初にあまり費用を使わず余ってしまった。しっかり年間計画を立てるようスタッフで話し合っている。・・・**
3	活動場所に関すること	**来年度の途中から、現在の会場が改修工事に入る予定となっている。後継の会場について、地域包括支援センターと一緒に検討中。・・・**
4	その他 （参加者に関すること、運営スタッフに関することなど）	**本人にもっと参加してもらいたい。開催内容を見直したり、地域包括支援センターや認知症地域支援推進員に相談し、声掛けをお願いしたりしている。・・・**

事業実施報告書・別添

記入例

利用者数等の内訳

（単位：人）

区分	月　日	時間	利用者				運営スタッフ		講師	ボランティア	計
			認知症の人	家族	地域住民	その他（包括職員等）	専門職	専門職以外			
1	4 月 10 日	13:00 ～ 16:30	1	1	4	1	1	2			10
2	5 月 8 日	13:00 ～ 16:30			4		1	2		2	9
3	6 月 12 日	13:00 ～ 16:30	1		2		1	2			6
4	7 月 10 日	13:00 ～ 16:30	2	3	5	2	2	2	1	2	19
5	9 月 11 日	13:00 ～ 16:30	2	2	3	1	1	2			11
6	10 月 9 日	13:00 ～ 16:30	1	2	3		1	2	1		10
7	11 月 13 日	13:00 ～ 16:30	1	1	3	1	1	3		2	12
8	12 月 11 日	13:00 ～ 16:30	1	2	2		2	1	1		9
9	1 月 8 日	13:00 ～ 16:30	1	1	3	1	1	2	1	3	13
10	2 月 12 日	13:00 ～ 16:30		1	3		1	2			7
11	3 月 12 日	13:00 ～ 16:30	1	1	3	1	2	2		2	12
12	月 日	～									0
13	月 日	～									0
14	月 日	～									0
15	月 日	～									0
16	月 日	～									0
17	月 日	～									0
18	月 日	～									0
19	月 日	～									0
20	月 日	～									0
21	月 日	～									0
22	月 日	～									0
23	月 日	～									0
24	月 日	～									0
合計			11	14	35	7	14	22	4	11	118

専門職（運営スタッフ）は必ず１人以上参加してください。０人の場合、支援対象事業としての要件を満たしません。

※　専門職（運営スタッフ）の欠席により、急遽、運営スタッフではない専門職が代役として参加してくれた場合は、その回については代役の専門職を運営スタッフとして取り扱ってください。

様式第１２号（第１２条関係）

記入例

出納簿

年	月	日	相手方	内容	費目	収入	支出	差引残高
R8	4	8	☆☆コンビニ	茶菓子、コーヒー	運営費		2,345	-2,345
	4	10	△△集会所	集会所使用料（4/10）	会場費		500	-2,845
	4	10	利用者負担金	200円×10人		2,000		-845
	4	12	株式会社●○	寄付金		3,000		2,155
	7	1	広島市認知症カフェ支援金			120,000		122,155
	7	9	☆★100円ショップ	紙コップ、紙皿など	運営費		880	121,275
	7	9	★★スーパー	茶菓子、コーヒー	運営費		3,456	117,819
	7	10	太田川　ケア太	講師謝礼金（認知症ケア講座）	謝礼金		3,000	114,819
	7	10	太田川　ケア太	講師交通費（認知症ケア講座）	謝礼金		500	114,319
	7	10	△△集会所	集会所使用料（7/10）	会場費		500	113,819
	7	30	●○介護用品店	置き型　手すり	運営費		15,000	98,819
R9	3	12	利用者負担金	200円×12人		2,400		101,219
	3	12	★★スーパー	茶菓子、コーヒー	運営費		87,584	13,635
	3	12	△△集会所	集会所使用料（3/12）	会場費		500	13,135
	3	12	利用者負担金	200円×6人		1,200		14,335
合計						128,600	114,265	14,335

（実支出額）

＜出納簿の書き方＞
- 支出の費目は「運営費」「会場費」「謝礼金」のいずれかを記入してください。
- 利用者負担金など、支援金以外の収入がある場合は、必ず収入に計上してください。
- 収入の費目は記入不要です。
- 後から追記する等により、日付が前後しても構いません。
- 市への提出の際、領収書（レシート）の添付は不要ですが、５年間は保存しておいてください。
- 次年度への繰り越しはできません。

【認知症カフェ支援金　返納額の計算】

① 支援金額（実際に振り込まれた金額）＝ 120,000 円

② その他収入（利用者負担金など） ＝ 8,600 円

③ 超過給付（中止回数×１万円） ＝ 10,000 円 （中止回数 1 回）

④ 剰余金 ＝（①支援金額＋②その他収入）－③超過給付－実支出額＝ 4,335 円

※ マイナスの場合は剰余金０円

支援金返納額（③+④）	14,335円	精算額｛①-(③+④)｝	105,665円

返納する金額

精算書に記入する精算額

記入例

原則3月31日を記入
（年度途中で廃止した場合は廃止日を記入）

令和 9 年 3 月 31 日

広　島　市　長　　様

申請したときの申請者と同じ内容を記入してください。

（申請者の住所　※団体の場合は所在地）

〒 730-8586

広島市中区国泰寺町一丁目6-34

（運営団体等名）

●○学区社会福祉協議会

（申請者[役職・氏名]）

会長　　広島　ケア子

精　算　書

令和 8 年度　認知症カフェ運営事業

（「 ●○カフェ 」に係るもの）について、下記のとおり精算（返納）します。また、申請内容に直接影響のない軽微な誤記や明らかな誤字脱字に対する訂正を市が行うことに承諾します。

●受領済額＝給付決定額
※実際に振り込まれた金額

●精算額＝受領済額－（超過給付＋剰余金）
※超過給付＝中止回数×1万円
※剰余金＝（受領済額＋その他収入）－超過給付－実支出額
・その他収入…利用者負担金、寄付など支援金以外の収入
・マイナスになる場合、剰余金は0円

事業名	認知症カフェ運営事業	
受領済額	120,000	円
精算額	105,665	円
差引返納額	14,335	円